

令和 6 年度 基幹工 第 7 号
具同送水管更新工事（ 4 工区）（繰越）

数 量 調 書
(配管7, 8)

配水管:数量調書

[illegible]

ダクタイル鋳鉄管延長集計

対象図面:配管詳細図 7

1) ダクタイル鋳鉄管布設延長 (φ 300)

①直管

	寸法	本数	延長 (m)
GX形直管 (S種)	φ 300×6.0	31.0	186.000
GX形直管 (S種) 切管用	φ 300		
計			186.000

②甲切管

	口径	延長 (m)
甲切管	φ 300	
計		

③乙切管

	口径	延長 (m)
乙切管	φ 300	
計		

④異形管 (布設延長に計上)

	形状寸法	寸法	数量	延長 (m)
GX形ライナ	φ 300	0.054		
計				

⑤異形管 (設置工に計上する為、管布設延長に計上しない)

	形状寸法	寸法	数量	延長 (m)
計				

⑥土工

	延長 (m)
土工断面9	186.0
小計	186.0
計	186.0

	延長集計根拠	延長集計	設計計上延長
(1) 布設延長	①+②+③+④	186.000 m ≒	186.0 m
(2) ポリエチレンスリーブ被覆工	①+②+③+④+⑤	186.000 m ≒	186.0 m
(3) 埋設表示シート工	⑥	186.0 m	186.0 m

ダクタイル鋳鉄管延長集計

対象図面:配管詳細図 8

1) ダクタイル鋳鉄管布設延長 (φ 300)

①直管

	寸法	本数	延長 (m)
GX形直管 (S種)	φ 300×6.0	10.0	60.000
GX形直管 (S種) 切管用	φ 300		
計			60.000

②甲切管

	口径	延長 (m)
甲切管	φ 300	
計		

③乙切管

	口径	延長 (m)
乙切管	φ 300	
計		

④異形管 (布設延長に計上)

	形状寸法	寸法	数量	延長 (m)
GX形曲管	φ 300×5・5/8°	0.375		
GX形継ぎ輪	φ 300	0.300		
GX形ライナ	φ 300	0.054	2.0	0.108
計				0.108

⑤異形管 (設置工に計上する為、管布設延長に計上しない)

	形状寸法	寸法	数量	延長 (m)
計				

⑥土工

	延長 (m)
土工断面1	60.1
小計	60.1
計	60.1

	延長集計根拠	延長集計	設計計上延長
(1) 布設延長	①+②+③+④	60.108 m ≒	60.1 m
(2) ポリエチレンスリーブ被覆工	①+②+③+④	60.108 m ≒	60.1 m
(3) 埋設表示シート工	⑥	60.1 m	60.1 m

配水管:土工集計表

名称	形状寸法	単位	設計計上	合計	対 象 図 面					
					土工断面1					
					246.1m	m当り	246.1m			
舗装版切断工	AS版 15cm以下	m	250	246.100	1.000	246.100				
舗装版直接掘削・積込工	舗装厚10cm以下	m2	350	344.540	1.400	344.540				
管路掘削		m3	200	203.279	0.826	203.279				
管路埋戻	入替碎石(RC-40)	m3	150	149.137	0.606	149.137				
路盤工	RM-30 t=11cm	m2	345	344.540	1.400	344.540				
AS舗装工(機械舗設)	再生密粒度 t=30mm	m2	345	344.540	1.400	344.540				
AS殻処理	L=1.8km	m3	14	13.782	0.056	13.782				
発生土処理	土砂、L=9.0km	m3	200	203.279	0.826	203.279				
カッター汚泥運搬処分	L=76.6km	t	0.3	0.32	V=0.023*0.04*246.10=0.23≒0.2m3 G=0.23*1.40=0.32≒0.3t					
(本復旧)										
舗装版直接掘削・積込工	舗装厚10cm以下	m2	350	344.540	1.400	344.540				
管路掘削	RM-30 t=1cm	m3	3	3.445	0.014	3.445				
AS殻処理	L=1.8km	m3	10	10.336	0.042	10.336				
Co殻処理	RM-30(無筋Co)、L=1.8km	m3	3	3.445	0.014	3.445				
不陸整正		m2	345	344.540	1.400	344.540				
AS舗装工(機械舗設)	再生密粒度 t=40mm	m2	345	344.540	1.400	344.540				

1日当り試験距離・・・実務必携より

口 径	φ 150以下	φ 200～350	φ 400～600	φ 700～800
既設管と連絡せず 給水車で注入する場合	1000m～1500m	500m～1000m	300m～500m	300m以下
既設管と連絡して 給水車が不要の場合	500m～2000m			

備考 4. 通水試験工の1日当り試験距離以下の日数の算出は、次式による。ただし、1日当り試験距離は適用範囲の最小値とする。

※ 通水試験(日)＝通水試験距離(m)/1日当り試験距離(m)

例) φ 150以下で通水試験延長が560mの場合 $560/1000=0.56$ 日

試験距離	既設管と連絡せず給水車で注水 $N=246.1/500=0.492 \div 0.49$ 日
------	--